

2020年8月3日

お客様各位

旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ株式会社
防護服グループ

ご案内 (タイケム®2000、タイケム®6000 耐透過性試験データ実験値の変更)

貴社益々ご清祥のことと存じ上げます。また平素より弊社製品をお取り扱いいただきまして、誠にありがとうございます。今般、デュポン社よりデュポン社での直近の耐透過性試験によって、タイケム®2000 およびタイケム®6000 における耐透過性試験の結果に変更があった旨連絡がございました。下記のとおり、耐透過性試験データ (以下、透過データ) 実験値の変更につきご案内申し上げます。なお、製品自体について変更はございません。

記

① タイケム®2000

対象物質：塩酸 37% 液体 (2020年8月3日現在)

標準透過時間(標準透過速度が $0.1\mu\text{g}/\text{cm}^2/\text{分}$ に達するまでの時間)：10分未満累積透過量($150\mu\text{g}/\text{cm}^2$ に達するまでの平均時間)：150分

参考までに、塩酸 32%の試験データを以下お知らせしますので、こちらも合わせてご参照ください。

対象物質：塩酸 32% 液体 (2020年8月3日現在)

標準透過時間：240分

累積透過量：480分以上

② タイケム®6000

対象物質：アセトニトリル 液体 (2020年8月3日現在)

標準透過時間：131分

累積透過量：480分以上

上記変更につき、お手数おかけしますが、製品ご採用の際にはご考慮いただきますようお願い申し上げます。また、タイケム®2000 ならびにタイケム®6000 の最新の透過データにつきましては、下記記載のウェブサイトでご確認を頂くようお願い申し上げます。

今後とも弊社製品につきまして、ご愛顧のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

なお、透過データの変更の原因につきましては調査中です。耐透過性試験は試験時の諸条件に大きく影響を受けるものであり、試験規格(ISO 及び ASTM)、温度条件、試験機並びに試験実施直前の濃度等の差異が試験結果に大きな差異を生み出したのではないかと考えられております。また透過データの数値については、デュポン社で実施した直近の複数の試験数値のうち、保守的な数値を開示及び運用するという観点から、最も低い値を採用したことも今回のデータ変更につながっているものと思われます。

DuPont™ SAFESPEC™ EUROPE サイト

<https://www.safespec.dupont.co.uk/selector-tool/selector-tools.html>

ご注意：

耐透過性試験の概要については、上記記載のウェブサイトの詳細がございます。使用に当たっては、所属や氏名、e-mail 等の各種情報登録が必要です。また、本ウェブサイトの透過データはあくまでもデュポン社での実験値であって、保証値ではございません。